

第69回 国連女性の地位委員会（CSW69） 「北京＋30」報告



大崎麻子
Gender Action Platform理事
CSW69日本代表

2025年5月16日

▶ 第69回 国連女性の地委員会（CSW）の概要

会期：2025年3月11日～22日

場所：国連本部（ニューヨーク）

テーマ：北京+30レビュー（「北京宣言」と「行動綱領」が採択された1995年の第4回世界女性会議から30年の節目）

各国の政府代表（副大統領、副首相、閣僚等）と市民社会団体等の代表者ら約13,000人が参加。議長は、サウジアラビアのアルワシル大使。

国・地域・グローバルで事前に取りまとめられた報告をもとに、初日に「政治宣言」が、最終日に「CSW複数年業務計画決議」が採択された。

日本政府代表団:

日本代表（英利アルフィヤ外務大臣政務官、大崎）、外務省、内閣府、厚労省、文科省、国立女性教育会館(NWEC)、国際協力機構(JICA)、NGO代表、ユース代表



Photo: [UN Women](https://www.unwomen.org/en/news/2025/03/cs69-opening-session)

▶ 第69回 国連女性の地位委員会（CSW）

【テーマ】 北京宣言と行動綱領及び第23回国連特別総会の成果の実施状況に関するレビューと評価



Photo: [外務省](#)、[UN Women](#)

▶ 北京 + 30レビュー：国連事務総長の報告書（E/CN.6/2025/3）

【進展の概要】

- 法制度改革、女性の政治参画の拡大
- 女子教育の普及、草の根の女性運動の強化
- ジェンダー視点の導入拡大

【依然として残る課題】

- 差別的な法的枠組み
- 複合的・交差的な形態の差別
- 労働市場での不平等、賃金格差
- ケア労働の集中と社会的評価の不足
- ジェンダーに基づく暴力の継続
- 無意識の偏見と制度的障壁

【現代における新たな脅威】

- デジタル空間でのハラスメントや暴力
- 気候変動や紛争による女性の脆弱性
- ジェンダー平等への社会的反発
- 民主主義の後退

【国連による提言】

- 意思決定への女性参画の確保
- ケア経済への制度的支援
- 若者・市民社会との連携強化
- 企業の役割と説明責任の明確化

CSW69政治宣言 概要

1 CSW69政治宣言

- 全8ページのコンパクトな文書(参考: 昨年のCSW68の合意結論は全27ページ)。
- 第4回世界女性会議から30年経ったものの、**北京行動綱領に記載されている12の重要分野でのコミットメントの進捗が遅いことに懸念を表明**(パラ8)。
- 新たな課題が浮上していることを認識するとともに、既存及び新たな課題や12の重要分野での実施上での格差に取り組む政治的意思とコミットメントを再確認。**以下が具体的に取り組むべき課題として列挙された**(パラ15)。
 - 女性の経済的エンパワーメント ●無賃金のケア及び家庭内労働 ●デジタル格差 ●貧困
 - 包摂的かつ普遍的な社会保障システムへの平等なアクセス ●身体的及び精神的健康
 - 教育の権利の推進 ●女性と女児の食料安全保障 ●女性に対する暴力の防止・撲滅・対応
 - 技術の使用によって増大された暴力の撲滅 ●女性に対する暴力の被害者及び生存者の司法へのアクセス並びに社会的及び身体的ケアサービスへのアクセス ●リーダーシップと意思決定における女性の完全かつ平等で意義のある参画 ●ジェンダー平等と女性のエンパワーメント達成のための効果的で十分なリソースのある国家機構の確保 ●予算計画や資金調達の過程におけるジェンダーの視点の主流化
 - 市民社会のアクターのための安全で活動しやすい環境の促進
 - 紛争における女性の保護と和平プロセス等における意思決定レベルでの女性の参画とリーダーシップの確保
 - 環境・気候変動・災害リスク軽減政策におけるジェンダー視点の主流化
- **今後の国連事務総長及び総会議長の候補に女性を推薦**するよう各国に奨励(パラ20)。

2 日本としての評価

- 初めて平和・安全保障の文脈に「女性」を関連づけた安保理決議1325号及びWPSへの明示的言及がなかったのは残念だが、国家行動計画、平和構築、紛争後の復興、人道的行動への言及があったことは歓迎。
- 1995年の北京行動綱領に記載されていたSexual and Reproductive Healthの文言が無くなったことは残念。

CSW複数年業務計画決議 概要

1 複数年業務決議概要

- **第70回～第73回(2026年～2029年)CSWの優先テーマ及びレビューテーマを決定する決議**。なお、レビューテーマは過去のCSWの優先テーマを取り上げるため、実質的にすでに内容が決まっている。
- 2027年のCSW71において、ジェンダーの平等の実現、女性と女児のエンパワーメント及び彼女たちの人権の完全な実現を加速するために、**北京+35である2030年をいかに活用するのか検討するよう要請**(パラ2)。
- また、第79回国連総会の「高齢化に関する第二回世界会議のフォローアップ」決議において、UN Womenを含む国連関係機関に対して、その活動において高齢女性の状況を主流化し、組み込みことを確保するよう要請されたことを受け、**CSW70の重点分野として高齢女性のエンパワーメントを設定**(パラ4)。
- CSW71において、**CSW活性化に向けた報告書の提出**を要請(パラ6)。

2 今後の優先テーマ

- CSW70(2026年):包摂的で公平な法制度の促進、差別的な法律・政策・慣行の撤廃及び構造的障壁への対処を含む全ての女性と女児のための司法へのアクセスの確保と強化
- CSW71(2027年):持続可能な開発のための2030アジェンダの文脈における、ジェンダー平等とすべての女性と女児のエンパワーメントの達成の加速
- CSW72(2028年):ジェンダー平等とすべての女性と女児のエンパワーメントを達成するためのケアと支援システムの認識と強化
- CSW73(2029年):人道上の緊急事態における女性と女児:同文脈における女性の参加とリーダーシップの推進とジェンダー平等とすべての女性と女児のエンパワーメントの達成

国連機関を含む国際機関（議長サマリーより）

多様なステークホルダーによる国際協力の重要性を指摘

1. 食糧及び農業セクターの変革（リソース配分と意思決定へのアクセスの強化を通じて、持続可能でレジリエントな農村開発とビジネスバリューチェーンを推進）
2. 高成長分野における質の高い仕事へのアクセスの強化（再生可能エネルギー等）
3. 高齢化を踏まえたライフサイクルアプローチの採用。女性と少女、特に高齢女性のレジリエンス、ウェルビーイング、経済参加の強化
4. 気候適応とケアエコノミーへの財政投資の拡大



グリーン・トランスフォーメーション（GX）とデジタル・トランスフォーメーション（DX）におけるジェンダー主流化

